

## 審査基準

評価項目		主な評価ポイント	配点												
一次審査 (書面審査)	企業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の業務実績に応じて、以下のとおり採点する。</li> <li>評価点 = <math>5 \times \Sigma</math>(各実績に係る用途係数)</li> <li>※用途係数：同種施設…1.0、類似施設等…0.5</li> <li>※件数は同種施設と類似施設等の合計で最大3件</li> </ul>	15												
	配置予定技術者資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任担当技術者（構造、電気及び機械）の有する技術資格の種別に応じて以下のとおり採点する。</li> <li>評価点 = <math>\Sigma</math>(各主任担当技術者の評価点) = <math>\Sigma</math>(配点×資格係数)</li> <li>※資格係数 <ul style="list-style-type: none"> <li>主任担当技術者（構造）：構造設計一級建築士…1.0、一級建築士…0.5</li> <li>主任担当技術者（電気・機械）：設備設計一級建築士…1.0、建築設備士…0.5</li> </ul> </li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">主任担当 技術者</td> <td>構造</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>機械</td> <td>3</td> </tr> </table>	主任担当 技術者	構造	3	電気	3	機械	3	9				
	主任担当 技術者	構造	3												
		電気	3												
		機械	3												
配置予定技術者実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各技術者の業務実績に応じて、以下のとおり採点する。</li> <li>評価点 = <math>\Sigma</math>(管理技術者及び各主任担当技術者の評価点) = <math>\Sigma</math>(配点×各業務に係る用途係数×各業務に係る立場係数)</li> <li>※用途係数：同種施設…0.5、類似施設等…0.25</li> <li>※立場係数 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理技術者：管理技術者としての実績…1.0、主任担当技術者としての実績…0.5</li> <li>主任担当技術者：管理技術者としての実績…1.0</li> <li>主任担当技術者としての実績…1.0</li> <li>主任担当技術者としての実績…0.5</li> </ul> </li> <li>※件数は同種施設と類似施設等の合計で各技術者毎に最大2件ずつ</li> <li>※当該実績の分担業務分野が、本業務での分担業務分野と同じ場合に限る</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">管理技術者</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主任担当 技術者</td> <td>意匠</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>機械</td> <td>2</td> </tr> </table>	管理技術者		9	主任担当 技術者	意匠	6	構造	2	電気	2	機械	2	21
管理技術者		9													
主任担当 技術者	意匠	6													
	構造	2													
	電気	2													
	機械	2													
継続的学習状況(CPD)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各技術者の過去6年間の有効取得単位数に応じて、以下のとおり採点する。</li> <li>評価点 = <math>\Sigma</math>(管理技術者及び各主任担当技術者の評価点) = <math>\Sigma</math>(配点×取得単位係数)</li> <li>※取得単位係数：90ユニット以上…1.0、70ユニット以上…0.8</li> <li>50ユニット以上…0.6、30ユニット以上…0.4</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">管理技術者</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主任担当 技術者</td> <td>意匠</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>機械</td> <td>1</td> </tr> </table>	管理技術者		1	主任担当 技術者	意匠	1	構造	1	電気	1	機械	1	5
管理技術者		1													
主任担当 技術者	意匠	1													
	構造	1													
	電気	1													
	機械	1													
事業理解及び施設計画の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の基本目標及び施設の使命（ミッション）を深く理解し、説得力のある施設計画の基本方針が明確に示されているか。</li> <li>「設計概要」の「第3章 施設整備」「1 基本的事項」に記載する3つのポイントに対するアプローチについて、論理的かつ的確に提案されているか。</li> </ul>	40													
業務遂行方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の品質、コスト、スケジュールを的確に管理するため、どのような手法やプロセスを重視してマネジメントを行うか、その基本的な方針が端的に示されているか。</li> <li>発注者やステークホルダーと連携・協調しながら、柔軟かつ迅速に設計に反映・調整していくための業務への取組姿勢が示されているか。</li> </ul>	30													
計			120												
二次審査	一次審査の評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次審査の評価点を、以下のとおり換算する。</li> <li>評価点 = 一次審査の評価点合計×1/6</li> </ul>	20												
	事業理解と施設全体計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次審査で提示した基本方針に基づき、実現性の高い具体的な施設全体計画が提案されているか。</li> <li>文化ホール機能の充実を最優先としつつも、工期短縮・コスト縮減などのポイントに対して、全体最適の視点からバランスの取れた計画が提示されているか。</li> </ul>	30												
	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次審査で提示した方針を具現化するための、十分な能力を有する具体的な実施体制並びに的確な品質管理体制が提案されているか。</li> <li>物価変動等のリスク要因を的確に把握し、設計段階における徹底したコスト管理や確実なスケジュール管理を実行できる実効性の高いマネジメント体制となっているか。</li> </ul>	10												
	文化ホールとしての機能充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>大ホールについて、興行公演から県民の発表公演まで幅広く対応するため、良好なサイトラインが確保可能な客席配置や、快適な鑑賞環境、質の高い音響環境、機能性の高い舞台機能を備えるなど、的確な提案がなされているか。</li> <li>多目的スタジオについて、室内楽、舞踊、演劇などの比較的小規模な公演や、講演会・会議等に幅広く対応するとともに、県民による挑戦的、創造的な取組を促進するための必要な機能を備えるなど、的確な提案がなされているか。</li> <li>その他諸室（活動室、共用ロビーなど）について、各諸室の用途にあった機能が確保されているか。</li> <li>観客、出演者、主催者、搬出入関係者など、施設利用者の属性に応じて、それぞれが利用しやすい動線計画となっているか。また、円滑な搬出入動線の確保に配慮した、国道等からの適切な動線計画の提案がなされているか。</li> </ul>	50												
	県都のにぎわいづくりへの寄与	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島駅周辺地区のにぎわい創出や徳島駅を中心とする回遊性向上など、県都のまちづくりに寄与する提案がなされているか。</li> <li>事業対象地が「水都とくしま」の象徴である「ひょうたん島」に含まれていること等を踏まえ、新町川との親和性、一体性に配慮した提案がなされているか。</li> <li>事業対象地が都市公園の一部として長年親しまれてきたことを踏まえ、藍場浜公園全体の中で連続性、親和性を持った空間として、鑑賞や活動を目的としない方も、気軽に休息や散歩などの利用ができる、魅力的な空間を提案しているか。</li> </ul>	20												
	工期短縮、コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期整備につながるよう、既存地下構造物の有効活用や設備移設の早期実施、敷地特性に配慮した工法・施工計画など、工期短縮に向けた提案が、適切な根拠をもって具体的に示されているか。</li> <li>地下構造物の有効活用について、地盤条件や周辺施設（河川・道路・建築物）への影響など、リスク要因を的確に分析し、工期・コスト・環境負荷低減等のバランスを考慮した合理的な方針が示されているか。</li> <li>建設コストはもとより、高耐久・長寿命な材料や、省エネ性能が高い設備機器の採用、メンテナンスや更新がしやすい仕様にするなど、ライフサイクルコストの低減に配慮した提案が示されているか。</li> <li>設計中に急激な物価上昇が生じた場合に、コスト抑制を図る有効な手法が具体的に示されているか。</li> </ul>	40												
	その他施設計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害や火災に対して、建築・構造・設備計画、避難計画等の防災対策について、総合的かつ合理的な解決策を伴う提案がなされているか。</li> <li>省エネルギー性能の向上、再生可能エネルギー活用、廃棄物の発生抑制など、持続可能な循環型社会の形成の実現に貢献する提案がなされているか。</li> <li>誰もが気軽に来館し、芸術文化に親しむことができるよう、ユニバーサルデザインに配慮した提案がなされているか。</li> </ul>	20												
	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の登用、県産材の利用、県内伝統工芸の活用、伝統産業技術の活用など、地域の経済・産業を取り込む提案がなされているか。</li> </ul>	10												
計			200												